

岡治茂夫氏文書(1)概要

- 1: 文書群番号 074007
- 2: 文書群名 岡治茂夫氏文書(1)
- 3: 出所 岡治茂夫家 (襲名: 茂右衛門)
- 4: 家業・役職等 友行村庄屋
- 5: 地名 摂津国武庫郡友行村 / 兵庫県武庫郡友行村 / 武庫郡武庫村友行 / 尼崎市友行 / 尼崎市武庫之荘7丁目ほか
- 6: 行政区分 ①旗本長谷川氏(守知系)知行所 / 同氏(守勝系)知行所 / 兵庫県第8区 / 常吉組戸長役場 / 武庫村 / 尼崎市 ②旗本長谷川氏(守知系)知行所 / 幕府領 / 武蔵国忍藩阿部氏(忠吉系)領 / 幕府領 / 尼崎藩領 / 兵庫県第8区 / 常吉組戸長役場 / 武庫村 / 尼崎市
- 7: 歴史 友行村は市域北西部に位置する。史料上の初見は建治3年(1277)「醍醐寺報恩院領年貢注進状」(醍醐寺文書 / 『尼崎市史』第4巻)で「野間村友行名」とある。中世から近世にかけて野間荘が野間・時友・友行の3村に分離していったと考えられる。
村高は慶長10年(1605)に295石余、元禄15年(1702)、天保5年(1834)に300石余とある。元和3年(1617)には旗本長谷川氏知行所であったが、寛永9年(1632)に村の大部約170石は同氏守勝系に分知、村の小部130石余は幕府領以下めまぐるしく領主が交替した。
水利は富松井組に属した。氏神は須佐男神社(近世には牛頭天王社)、寺院は高野山真言宗白衣観音寺(旧称観音寺)、ほかに近世は真言宗瑞光山常法寺があった。
昭和53年(1978)の住居表示により、友行という地名は消滅した。
岡治家は近世には友行村小部の庄屋を務めた家である。
- 8: 伝来 市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に岡治茂夫氏が市史編集室へ寄贈。
- 9: 史料入手先 岡治茂夫氏
- 10: 点数 1,041点(目録件数347件)
- 11: 年代 慶安2年(1649)～大正2年(1913)
- 12: 構造と内容 本文書群の大半は近世史料であり、一部岡治家の農業経営(地主経営)に関する近代史料がある。
近世史料は、①触書控え帳等の支配、②村政、③土地・貢租、④戸籍・宗教、⑤金融、⑥水利、⑦農業経営(地主経営)等で構成される。内容は多岐にわたっており、全体として近世友行村の様子がよくわかる文書群である。
②は、米銀差引帳、大仲組割賦取り決め等村方入用やその算用に関する史料がまとまっている。
③は、延宝5年(1677)検地帳、名寄帳等土地台帳のほか、年貢割付帳、皆済目録、免割帳等がある。
④は人別送り、人数増減点合帳、宗門改め帳、⑤は田地譲り渡し証文、銀子借用証文等が同じくまとまっている。
⑥は、武庫川用水の水利関連史料が多く、武庫川筋の普請に関するものもある。
また、⑦岡治家の地主経営状況がわかる帳面類(下作米銀取立帳)が多数存在している。他に酒株等酒造関連の史料がある。
その他特徴的な史料としては、幕末期の助郷人足、軍用人足等徴発に関する史料がある。
同氏文書(2)16点、岡治孝雄氏文書7点と本来一体。
- 13: 関連史料 岡治茂夫氏文書(2)、岡治孝雄氏文書など
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央